

**PC330 (Type 6577) / PC350 (Type 6587)**  
初期導入済ソフトウェアについて  
**(Windows 95)**





**PC330 (Type 6577) / PC350 (Type 6587)**

初期導入済ソフトウェアについて

**(Windows 95)**

— お願い —

本書の情報および、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず 15ページの付録A、『ライセンス情報』および 19ページの付録B、『特記事項および商標』をお読みください。

原 典： 84H3405  
IBM Personal Computer  
About Your Software  
Windows 95 and Other Software  
発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社  
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1997.5

©Copyright International Business Machines Corporation 1997. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1997

本書について	v
第1章 ソフトウェアの概説	1
導入済ソフトウェア	1
すぐに導入できるソフトウェア	2
第2章 始動	3
本製品の初めての始動	3
始動する前に必要なこと	3
Windows 95 セットアップ プログラムの実行	4
ソフトウェア導入手順を完了する	5
IBM Welcome Center の使用方法	6
オンライン ブックの表示	6
Windows 95 の終了方法	7
導入済みアプリケーションの使用方法	7
アンチウイルス Lite for Windows 95	7
Hard Disk Monitor for Windows	8
第3章 他のオペレーティング・システムの導入の前に	9
第4章 サポート CD の使用方法	11
サポート CD の機能	11
サポート CD の開始	12
第5章 QAPLus/PRO 診断プログラムの使用方法	13
付録A. ライセンス情報	15
プログラム名	15
追加条件	15
プログラム・サ - ビス	16
保証	16
その他	16
その他の追加条件	16
付録B. 特記事項および商標	19
特記事項	19

商標 .....	19
----------	----

本書では、ユーザーのコンピューター資料の情報を補足します。今後参照するときのために、本書はコンピューター資料と一緒に保管しておいてください。

本書には、導入済みソフトウェア・プログラムおよび本製品に付属しているその他のソフトウェアについての一般情報が記載されています。

本書は次のように編成されています。

- 1ページの第1章、『ソフトウェアの概説』には、本製品に付属のソフトウェアについての情報が記載されています。
- 3ページの第2章、『始動』には、コンピューターを始動したり、一部のソフトウェア機能を理解する上で役立つ情報が記載されています。
- 9ページの第3章、『他のオペレーティング・システムの導入の前に』には、他のオペレーティング・システムおよびサポート・ソフトウェアの導入についての情報が記載されています。
- 11ページの第4章、『サポート CD の使用方法』には、サポート CD で提供されるソフトウェアの導入または再導入についての情報が記載されています。
- 13ページの第5章、『QAPlus/PRO 診断プログラムの使用方法』には、QAPlus/PRO 診断プログラムの始動手順が記載されています。
- 15ページの付録A、『ライセンス情報』には、ユーザーのソフトウェア・ライセンスについての情報が記載されています。
- 19ページの付録B、『特記事項および商標』には、法律に関する特記事項と商標についての情報が記載されています。





本製品には、さまざまなソフトウェアが付属しています。すなわち、Microsoft Windows 95<sup>1</sup>、アプリケーション・プログラム、診断ツール、およびデバイス・ドライバーです。これらのソフトウェアには、*初期導入* されているものと、(同梱の CD から) *導入可能* なものがあります。これらのソフトウェアは、本製品に付属しているライセンス同意書の条件により、ライセンスを受けています。ライセンス情報については、本冊子の付録A に記載されています。

## 導入済ソフトウェア

Windows 95 以外に、下記のソフトウェアが初期導入されています。

- IBM アンチウィルス Lite for Windows 95 プログラム
- IBM Hard Disk Monitor for Windows プログラム
- IBM Welcome Center
- オンライン・ブック
- 出荷時導入済みハードウェア用のデバイス・ドライバー

導入済ソフトウェアについての情報は、3ページの第2章、『始動』に記載されています。

注:

1. Windows 95 を再導入する際に必要になる「Windows 95 CD 版用セットアップ起動ディスク」は、本製品には付属していません。Windows 95 のディスク作成プログラム (Create System Disks) を使用して、このディスクを作成してください。また、サポート CD には、IBM によって初期導入されているプログラムおよびデバイス・ドライバーのほとんどが含まれています。オペレーティング・システムを再導入する必要がある場合には、作成した「Windows 95 CD 版用セットアップ起動ディスク」と Windows 95 の CD と、サポート CD を使用してください。(Windows 95 オペレーティング・シス

---

<sup>1</sup> The Microsoft Certificate of Authenticity は、本製品上の Windows 95 ソフトウェアが、Microsoft 社から合法的にライセンスを受けていることを保証するものです。

テムや、事前導入されているソフトウェアのディスクは、IBM から購入することはできません。)

## すぐに導入できるソフトウェア

すぐに導入できるソフトウェアは、サポート CD で配布されます。この CD には、IBM によって事前に導入されているプログラムおよびデバイス・ドライバの他に、追加ソフトウェアも含まれています。必要に応じて、どのプログラムを導入するかを決めてください。ここでは、CD に含まれている追加ソフトウェアのいくつかについて説明します。

注: CD に実際に含まれているソフトウェアは変更されることがあるため、ここでの説明とは異なる場合があります。他のオペレーティング・システム (9 に一覧があります) 用の同種のソフトウェアも、CD に含まれています。この CD についての補足情報は、第4章 に記載してあります。

### CoSession 95

CoSession 95 は、手元の PC から別の場所にあるもう一台の PC を、モデムまたは LAN を経由して、自由に操作できるようにする「リモート・コントロール機能」を提供するソフトウェアです。また、このソフトウェアは IBM 技術員が製品のサポート、保守、サービスをする際に必要と判断した場合、お客様の同意を得て利用することもあります。

### TME 10 NetFinity サービス・プログラム

ご使用の PC のハードウェアおよびソフトウェアに関する詳細な情報の表示、DMI 情報のブラウズ、さまざまなシステム資源のモニター、およびアクセス保護の管理を行なうためのソフトウェアです。本製品が、NetFinity Manager が導入されているネットワークに接続されている場合には、NetFinity Manager は asset 管理のために情報を収集し、本製品の操作をモニターすることができます。

本章には、本製品を始動する上で役立つ情報が記載されています。ここでは、次のことを説明します。

- 最初に本製品を始動する前に何が必要で、始動の後に何が起こるか
- 方法
  - IBM Welcome Center およびオンライン・ブックにアクセスする方法。
  - ソフトウェア導入手順を完了する方法。
  - 本製品を安全に遮断する方法。
  - IBM によって事前に導入されたアプリケーションを使用する方法。

### 本製品の初めての始動

初めて Windows 95 にアクセスする前に、Windows 95 のセットアップ手順を完了する必要があります。

### 始動する前に必要なこと

Windows 95 のセットアップ手順を始める前に、次のものを用意する必要があります。

- 本章より詳しい情報が必要な場合には、本製品に付属の Windows 95 の説明書。
- プロダクト ID 番号については、Microsoft Certificate of Authenticity (Windows 95 の説明書の表紙に添付されています)。
- 本製品の固有の名前。本製品のモデルにイーサネットのサポートが組み込まれている場合には、ネットワーク情報（ネットワーク上で本製品を識別するためのコンピューター名やワークグループ名など）をネットワーク管理者から得る必要があります。
- プリンターを本製品に直接接続する場合には、プリンターのモデルおよびプリンターが使用するポート。

## Windows 95 セットアップ プログラムの実行

セットアップ プログラムをまだ実行していない場合には、本製品の始動時に実行されます。このプログラムは、必要に応じて、情報の選択や入力を求めるプロンプトを表示します。下記の説明よりも詳細な情報が必要な場合には、Windows 95 の説明書を参照してください。

注:

1. セットアップ手順中で、Windows 95 のライセンス条項を受諾することを示すために、プロンプトに対して、Certificate of Authenticity のプロダクト ID 番号を入力する必要があります。Certificate of Authenticity は、Windows 95 の説明書の表紙に添付されています。
2. セットアップ手順を完了して、システムを再始動すると、Windows 95 のデスクトップが表示され、「Windows 95 へようこそ」というパネルがオープンします。「Windows 95 へようこそ」ウィンドウからは、以下のことを選択することができます。
  - 簡単な Windows 95 のチュートリアルプレビュー。
  - このリリースの Windows 95 での変更点の表示。
  - オペレーティング・システムの使用についての情報の入手。
  - Microsoft への Windows 95 ソフトウェアの登録（モデムが導入済みである場合）。

本製品を始動するたびに「Windows 95 へようこそ」パネルが表示されないようにするには、パネル内の「**Windows** を次に起動するときも、このダイアログを表示する」ボックスの選択を解除します。

3. Windows 95 を再導入する際や、システムが破損した場合に必要な Windows 95 起動用ディスクのバックアップ・ディスクは提供されていないため、できるだけ早く、Windows 95 のディスク作成プログラムを使用して、このディスクを作成します。ディスクを作成するには、次の手順を実行してください。スタート・ボタンをクリックする。プログラム、アクセサリ、システム・ツールを選択する。**Create System Disks** をクリックし、画面の指示に従ってディスクを作成する。

## ソフトウェア導入手順を完了する

下記のとおり、「ソフトウェアの導入」フォルダに含まれている、導入済みソフトウェアの自動導入手順を完了してください。

1. 「Windows 95 へようこそ」パネルがオープンされている場合には、閉じます。
2. 「ソフトウェアの導入」フォルダをダブルクリックします。
3. 「ソフトウェアの導入」パネルで、アイコンの 1 つをダブルクリックし、関連するプログラムまたは機能を使用可能にします。すべてのプログラムおよび機能を選択して、使用可能にするまで、この手順を繰り返します。

1 つのプログラムまたは機能が使用可能になると、そのアイコンは、「ソフトウェアの導入」パネルから除去されます。すべてのプログラムおよび機能を使用可能にした後は、本製品を再始動すると、「ソフトウェアの導入」フォルダはデスクトップから除去されます。これらのプログラム (IBM アンチウイルス Lite、および MS-IME97) にアクセスする方法については、プログラムを使用可能にした後で、7ページの『導入済みアプリケーションの使用法』を参照してください。

## IBM Welcome Center の使用方法

IBM Welcome Center は、情報を入力し、システムの設定作業を行なうための中心となります。たとえば、以下を行なうことができます。

- 時刻および日付の設定
- プリンターのセットアップ
- キーボードおよび画面の設定
- ワークスペースの調整についての情報の取得
- IBM 製品についての情報の取得

さらに、本製品をインターネットへ接続できる場合には、IBM Welcome Center から直接インターネットへ出ることができます。IBM Welcome Center にアクセスするには、次の手順を実行してください。

1. 「Windows 95 へようこそ」パネルがオープンされている場合には、閉じます。
2. **IBM** フォルダをダブルクリックします。
3. **IBM Welcome Center** をダブルクリックします。
4. 利用可能なすべての選択を表示するのに、スクロールダウン（PgDn キーを押す）しなければならない場合があります。

## オンライン ブックの表示

Windows 95 のデスクトップから、*解説書*などのオンライン・ブックにアクセスすることができます。オンライン・ブックにアクセスするには、次の手順を実行してください。

1. Windows 95 デスクトップから、**IBM** フォルダーをダブルクリックする。
2. 「オンライン・ブック」をダブルクリックする。それから、読みたいマニュアルのアイコンをダブルクリックする。

## Windows 95 の終了方法

保存していないデータを失ったり、プログラムに損傷を与えたりすることのないように、本製品の電源を切る前には、必ず、Windows 95 の終了手順を実行してください。

本製品を遮断するには、次の手順を実行します。

1. 作業中のデータを保存します。
2. オープンしているアプリケーションをすべてクローズします。
3. スタート・ボタンをクリックします。
4. **Windows 95** の終了をクリックし、はい (Y) をクリックして、要求を確認します。

## 導入済みアプリケーションの使用方法

この項では、導入済みプログラムについて解説します。

- IBM アンチウイルス Lite for Windows 95
- IBM Hard Disk Monitor for Windows

本製品には、次のような、Windows 95 標準のデスクトップ・グループも付属しています。すなわち、マイ コンピュータ、Inbox、ごみ箱、インターネット、The Microsoft Network、受信トレイおよびブリーフケースです。さらに、本製品には、「スタート」メニューの「プログラム」からアクセスする Windows 95 標準コマンド・プログラムも装備されています。すなわち、アクセサリ、スタートアップ、MS-DOS プロンプト、Windows エクスプローラ などです。これらのグループのソフトウェアについては、Windows 95 の説明書またはオンライン ヘルプを参照してください。

追加のソフトウェアは、サポート CD で提供されます。詳細については、第4章を参照してください。

## アンチウイルス Lite for Windows 95

IBM アンチウイルス Lite for Windows 95 プログラムは、コンピューターからウイルスを検出して除去する包括的なウイルス防止製品です。このプログラムが動作するようにするには、5ページの『ソフトウェア導入手順を完了する』の手順によって、プログラムを使用可能にしてください。このプログ

ラムを使用可能にした後に、現在の設定の変更または表示を行いたい場合には、次の手順を実行してください。

1. スタート・ボタンをクリックします。
2. プログラム、**IBM アンチウイルス** を選択し、**IBM アンチウイルス Lite** をクリックします。
3. IBM アンチウイルス Lite ウィンドウで、メニュー・バーの「シールド」を選び、必要ならば変更します。
4. ウィルスのスキャンを行なうには、メニュー・バーの「スキャン」を選び、「システムのスキャン」または「ディスクのスキャン」をクリックします。
5. 終了したら、終了ボタンをクリックして、そのパネルを抜けます。

サポート文書はオンラインで提供されます。

## Hard Disk Monitor for Windows

IBM Hard Disk Monitor for Windows 95 プログラムでは、自己監視の分析と報告技術 (SMART) を使用して、本製品に導入されている物理 IDE ハード・ディスク・ドライブを監視します。ハード・ディスク・モニターが、ドライブ内での考え得る障害を検知するには、IDE ドライブは SMART 互換でなければなりません。ハード・ディスク・モニターにアクセスするためには、次の手順で行ってください。

1. スタート・ボタンをクリックします。
2. プログラム、**Hard Disk Monitor** を選択し、クリックします。

モニターの使用法およびカラー・コード化された状況情報の解釈に関する追加情報については、オンラインのヘルプを参照してください。



## 第3章 他のオペレーティング・システムの導入の前に

---

下記のオペレーティング・システムのいずれかを導入する場合には、サポート CD で提供されるサポート・ソフトウェアを導入する必要があります。

- IBM OS/2 Warp
- IBM OS/2 Warp Connect
- Microsoft Windows NT Workstation バージョン 3.51
- Microsoft Windows NT Workstation バージョン 4.0
- 日本語 MS Windows V3.1 (IBM 版)
- IBM PC DOS J6.3/V
- IBM DOS J7.0/V

いずれのオペレーティング・システムを導入する場合でも、事前に、必ず、最新のフィックス・パックや CSD など入手してください。それら入手するためには、該当するオペレーティング・システムのメーカーに連絡してください。

オペレーティング・システムを導入するには、そのオペレーティング・システムに付属の資料に記載されている手順と、フィックス・パックや CSD など (ある場合) に従ってください。その後で、第4章 に記載されている手順に従って、サポート・ソフトウェアを導入します。



本製品に付属のサポート CD からデバイス・ドライバーや、その他のソフトウェアを導入または再導入しようとする場合には、この章の情報を使用してください。

### サポート CD の機能

サポート CD には、各種のオペレーティング・システム環境のためのデバイス・ドライバー、診断プログラム、およびその他のサポート・ソフトウェアが含まれています。

#### 重要

サポート CD には、オペレーティング・システムは含まれていません。この CD は、お使いのオペレーティング・システムが本製品にすでに導入されていないと、使用できません。

この CD を使用して、次のことが行えます。

- CD 上のアプリケーションおよびデバイス・ドライバー用のディスクットの作成と、ディスクットからのアプリケーションおよびデバイス・ドライバーの導入。
- CD-ROM ドライブが装備されたモデルへの、CD からの一部のアプリケーションの直接導入。
- 本製品またはネットワーク上の PC のハードディスクへ、サポート CD のイメージを転送し、そのイメージからサポート CD を使用すること。

この CD により、使いやすいグラフィカル・インターフェースと、CD 上の大部分のソフトウェアの導入手順が提供されます。この CD には、ヘルプ・システムと、CD の機能および CD に入っているソフトウェアについて説明している概説が入っています。サポート CD に入っているプログラムとデバイス・ドライバーは、IBM プログラムのご使用条件およびサポート CD 中の「CD-ROM の概要を見る」に含まれているライセンス情報の条件でライセンスを受けています。本冊子の付録 A に記載されているライセンス情報は、初期導入済みのソフトウェア用のものであり、サポート CD 中の「CD-ROM の概要を見る」に記載されているライセンス情報は、該当する CD ソフトウェア用のものです。

## サポート CD の開始

サポート CD からソフトウェアを導入したり、関連するデバイス・ドライバーおよびプログラムについての概要を表示する場合には、次のように行います。

1. CD-ROM ドライブにサポート CD を差し込みます。
2. CD を開始します。(Windows 95 デスクトップから) IBM フォルダのサポート CD の起動をダブルクリックし、次に e:\ibmsetup.exe と入力してください。(ここで、e: は CD-ROM ドライブ名です。)

あるいは、

お使いのオペレーティング・システムに応じて、下記の手順で CD を開始します。

- Windows 95 または Windows NT 4.0 の場合：タスクバーにあるスタート・ボタンをクリックし、実行をクリックしてから、次のようにタイプします。

```
e:\ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

- Windows NT 3.51 または Windows 3.1 の場合：Windows のプログラム・マネージャーのパネルから、メニュー・バーのファイルをクリックし、実行をクリックしてから、次のようにタイプします。

```
e:\ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

- OS/2 の場合：OS/2 コマンド・プロンプトで、次のようにタイプします。

```
start /win e:\ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

3. 希望するオプションを選択します。その後は、画面に表示される指示に従ってください。

QAPLus/PRO 診断プログラムを使用して、いくつかの外部装置を含め、システムのハードウェア構成要素をテストすることができます。これは、診断テストを実行するだけでなく、いくつかのユーティリティー・プログラムも含み、本製品についての情報を提供します。QAPLus/PRO プログラムは、オペレーティング・システムとは独立して実行されます。このプログラムは、ディスクетで提供されます。

QAPLus/PRO プログラムを実行するには、次の手順で行います。

1. Windows 95 を終了して、本製品の電源を切ります。(手順は、7ページの『Windows 95 の終了方法』を参照してください。)
2. 接続されている装置の電源を切ります。
3. 「PC300/700 Diagnostic Diskette」というラベルのついたディスクетをドライブ A に挿入します。
4. 接続されているデバイスの電源を入れ、次いで、本製品を再始動します。QAPLus/PRO プログラムは自動的に開始されます。
5. 画面の指示に従います。

障害追求の図表および自己診断テスト (POST) のエラー・メッセージや提案される処置など、追加の診断情報は、*ユーザーズ・ガイド*に記載されています。



この冊子に記載の「ライセンス情報」は、「IBM プログラムのご使用条件」により使用許諾される IBM 製および他社製の「プログラム」に適用されるものです。なお、**Windows 95** は、IBM により提供されますが、独自の使用条件および保証が適用されます。

この冊子で参照しているプログラムには、すべての言語版で提供されていないもの、またはすべての国で入手可能とは限らないものもあります。また、プログラムには、実際に市販されているバージョンとは異なることがあり、共に出荷されるこの PC 用にカスタマイズされていることがあります。これらの「プログラム」はすべてのマニュアル等の資料を含んでいない場合、または、すべての機能を有していない場合があります。なお、これらのプログラムは、すべて個別に販売されているとは限りません。

### プログラム名

初期導入済プログラム (Windows 95を除く。)

### 追加条件

- 家庭用コンピュータ / 携帯用コンピュータへの複製および使用  
この「プログラム」には適用されません。

- プログラムの移転

この「プログラム」は、「プログラム」の調達元 (IBM または IBM 認定再販売) の書面による同意がある場合に限り、第三者に移転することができます。

- 使用権の証明

この「プログラム」に対するお客様の使用権は、所定のライセンス証書により確認されます。IBM または IBM 認定再販売者が提供する保証サービス、将来における「プログラム」の上位移行 (発表された場合) または販売促進用の特別な措置 (提供された場合) 等の資格の確認およびこの「プログラム」に対する使用権の証明として、ライセンス証書を保管するものとします。

このシステムとともに提供された「プログラム」には限定的な技術サポートのみが提供されます。詳細については、システムのマニュアルを参照してください。

## プログラム・サ - ビス

この「プログラム」にはプログラム・サ - ビスは提供されません。この「プログラム」は、特定物として現状のまま提供されます。

## 保証

### 初期導入済プログラム

初期導入済プログラムは、特定物として現存するままの状態にて提供され、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示または黙示の保証は適用されません。

## その他

この「ライセンス情報」にて参照している書類を含め、この「プログラム」に関するいかなる書類も、お客様の参照のために提供されるもので、「ライセンス情報」記載の内容を拡張または変更するものではありません。

## その他の追加条件

以下の条件は、IBM のシステム（以下「システム」といいます。）とともにディスクもしくは CD-ROM の形で提供、「システム」上に初期導入、CD-ROM、システムもしくはロ - カル・エリア・ネットワーク（LAN）から IBM 所定のプログラムを使用してディスクに複製したデバイス・ドライバ - 、ユ - ティリティ - ・プログラムおよびフラッシュ BIOS コード（以下、あわせて「システム・プログラム」といいます。）に適用されます。「システム」とは、IBM 機械本体、機構、型式変更、オプションおよびその組み合わせを意味します。

お客様が「システム」の正当な占有者である場合、または「システム」の保守の目的で「プログラム」を取得された場合、IBM またはその直接もしくは間接の子会社は、お客様に対し、「システム」と共にもしくはその一部として「プログラム」を使用する権利、および「プログラム」を回復または保守のために使用する権利を許諾します。「システム」の正当な占有者に対して「システム」の回復または保守を目的としてのみ「プログラム」の複製物を配布し、導入することができます。ただし、この場合、この使用条件のコピーも合わせて提供するものとします。当該占有者が「プログラム」を使用開始したときには、この使用条件に同意したものとします。



「プログラム」の複製物には、お客様は「プログラム」と同一の著作権表示を必ず行うものとします。





TME 10

Tivoli Systems, Inc.

Microsoft、Windows、Windows NT、および MS-DOS は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

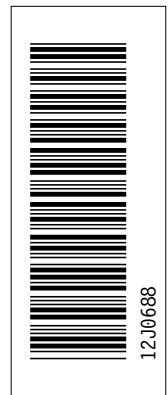
本書で二重アスタリスク (\*\*) が付けられているその他の会社名、製品名、およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。





部品番号: 12J0688

Printed in Japan



**日本アイビーエム株式会社**

東京都港区六本木 3-2-12 〒106  
TEL (03) 3586-1111

